

【タイのピサヌロック市へ、長崎市の観光行政のスペシャリストを派遣！
～自治体職員の高度な知識や経験を活用した取組～】

ピサヌロック市における自治体国際協力専門家派遣事業の概要をご紹介します。

皆さんはタイ北部の都市ピサヌロック市をご存知ですか？ピサヌロック市はアユタヤ王朝時代には首都になったこともあるタイ北部の歴史のある都市です。最近ではミャンマーとベトナムを結ぶインドシナ東西回廊の拠点として注目されています。

2012年10月29日（月）から11月9日（金）までこのピサヌロック市へ長崎市の職員が現地の観光関係者を指導するための専門家として派遣されました。当事務所はこの派遣に同行支援しましたので、ピサヌロック市と自治体国際協力専門家派遣事業について報告します。

・交通の要衝と歴史の街 ピサヌロック市

ピサヌロック市はタイの首都バンコクから 377km ほど北に位置する、面積約 10,815 km²、人口約 75,000 人の都市です。タイを南北に貫くチャオプラヤ川の支流であるナン川に臨んでいます。このチャオプラヤ川は米の産地であるタイ平野を潤すばかりではありません。巨大な船舶が行き交うタイ国内の大動脈の役割も果たしています。

ピサヌロック市は首都バンコクからも鉄道、道路、空路で結ばれています。最近では、ベトナムからラオス、タイを経てミャンマーにいたる全長約 1,500 km のインドシナ横断道路、通称「東西回廊」が通過する重要な都市の 1 つとして世界の注目を集めています。まさに東西、南北の道路が交差する「交通の要衝」といえます。

ピサヌロック市は、13～15 世紀のスコタイ王朝、15 世紀～18 世紀のアユタヤ王朝時代を通じて重要な都市として栄えました。一時は首都になったこともあるため、多くの歴史的な建造物が残されています。その中でも 1357 年に建立されたワット・プラ・シー・ラタナー・マハータート（寺院）にはタイで最も美しいと言われている、高さ 3.5m の黄金の仏像が安置され、観光の目玉となっています。



光り輝く美しい仏像

・自治体国際協力専門家派遣事業とは

クレアでは高度な技術や行政知識を有する日本の地方自治体職員（OBを含む）を海外の地方自治体の求めに応じて、派遣する事業を実施しています。この事業を契機として、両国自治体間の友好関係が強化されることを目的としています。

派遣分野は消防・防災、水道、社会福祉、保健衛生、地方行政など多岐にわたっています。2000 年から実施されており、派遣先・派遣元双方の自治体から大変好評を得ている事業です。

今回、ピサヌローク市からクレアに対し、日本の自治体の観光振興政策について指導することができる専門家を派遣してほしいという要望が出されました。

・自治体の観光のプロが成功の秘訣を伝授！

今回のピサヌローク市からの要望を受け、日本有数の観光都市である長崎市から、出島復元整備室に勤務する馬見塚（まみつか）純治室長が専門家として派遣されました。馬見塚専門家は 2006 年に住民参加型のまち歩き観光事業「長崎さるく*博'06」で大成功を収めた同市の観光行政に携わった経験を持っています。その経験をもとに、現地で約 2 週間に及ぶ指導を行いました。

講義では、日本の観光地の紹介とその成功事例のパターン分析、日本の観光産業における行政と民間の役割の考え方、観光事業の予算策定の方針と経済効果、市民と民間事業者と行政が協働して成功した「長崎さるく」の事例等が紹介されました。特に「長崎さるく」発案時のテーマである「魅力的な観光資源を見つけるコツは、ないものねだりではなく、あるもの探しの目で」というキーワードの紹介は、既に魅力的な観光資源が市内に点在しており、それらをブラッシュアップすることで将来充分魅力的な観光都市となり得るであろうピサヌローク市の関係者にとって特に印象的だったようです。最終日には専門家と受講者で魅力ある観光都市をつくるための長期的なまちづくりの考え方、観光戦略を策定する方法といったテーマでディスカッションも行われ、活発な意見交換がなされました。



講義の様子

※さるく...まちをぶらぶら歩くという意味の長崎弁

・1人の自治体職員から始まる国際交流

ピサヌローク市への専門家派遣事業は 2009 年度の消防技術分野から始まり、2012 年度で 4 回目を迎えました。ピサヌローク市はこの専門家派遣事業を高く評価しており、早速今回の馬見塚専門家の講義を参考に同市の観光戦略の策定に着手するそうです。更に、日本の観光先進自治体の取組に関する知識を深めるために、ピサヌローク市の関係者が長崎市の観光施設の視察を希望しているとのことでした。

このように、クレアの国際協力事業が日本の自治体と海外の自治体との間に草の根交流の契機となることを願っております。皆さんも自治体で培われた専門的な知識や経験を生かして、日本と海外の自治体間の交流のきっかけを作ってみませんか。

(専門家派遣同行支援時における聞き取り等)

(長濱調査役 埼玉県派遣，田中所長補佐 長崎県長崎市派遣)